

よこはますいどう りよくだう

① 横浜水道みち緑道

横浜水道みち緑道は、12.2kmが相模原市内を縦断していて、歩行者・自転車の通路を、アスファルトやブロック舗装等で整備を行い、両側の空地には芝生やバネ遊具等の遊びの空間、ベンチや屋根付き日よけ（シェルター）等の休憩施設を設け、低木で親しみやすいサツキツツジ、ドウダンツツジ等を植栽し、潤いを持たせています。



よこはますいどうきよくさがみはらちんでんち

② 横浜市水道局相模原沈殿池

相模原沈殿池は、昭和29年に築造され、88万3,000立方メートルの水を貯水することができ、この貯水量は、横浜市民が1日に使う水の量の約70%に当たります。かながわの探鳥地50選に指定されており、コサギ、カルガモ、カワラヒワなど数十種類の野鳥が集まり、バードウォッチングの人気スポットとなっています。



なか こみち

③ さがみの仲よし小道

買い物・通勤・通学等、生活道路的な多目的緑道として、地域の緑化運動の場所や、コミュニティーづくりの一助となるように、遊具やベンチが設けられ、通行路としてだけでなく、憩いの場としても安全で快適な緑道整備がなされています。



さがみりよくだうりよくだう

④ 相模緑道緑地

相模緑道緑地は、昭和23年から昭和38年までの16年間をかけ、相模原開発畑地かんがい事業として畑に水を引くための用水路等の施設を築造しました、通称「畑かん水路」と呼ばれる水路敷きを緑道として整備したものです。



かんがいのうすいあるあと

⑤ 灌漑用水路跡

畑地灌漑用水は、戦後、食糧増産を補う食糧増産のため、県営事業として昭和38年に完成しました。しかし、その後の食糧事情の好転や都市化により、十分に機能しないうちに使われなくなってしまいました。現在は、相模原市登録有形文化財となっています。



さがみはらちゅうおうりよくだう

⑥ 相模原中央緑地

木もれびの森の核として散策路や芝生広場、トイレなどが設置され、都市公園として位置付けられています。林内の樹木には、それぞれ木にちなんだ「万葉の歌」の歌碑が建てられているものもあります。



こ もり

⑦ 木もれびの森

コナラ、クヌギなどの雑木林が連なり相模野の面影を残す平地林で、四季折々の自然の表情を満喫できる散策路があります。平坦地なのでお年寄りから子供まで森林浴が楽しめます。また木もれびの森は、「かながわの美林50選」に選ばれています。



③ さがみの仲よし小道

北里大学病院

麻溝台高校

52 相模原町田

日産自動車相模原部品センター

麻溝台工業団地

① 横浜水道みち緑道

② 横浜市水道局相模原沈殿池

⑨ 県立相模原公園

かながわグリーンハウス

⑧ 相模原麻溝公園

⑧ 相模原麻溝公園

相模原麻溝公園は「第9回全国都市緑化かながわフェア」の開催を記念して建設されました。高さ55mの展望塔は公園のシンボル（展望室38m）。晴れた日には、丹沢、多摩丘陵、横浜、湘南の大パノラマが広がります。またセンター広場のスロープに広がる大花壇は迫力ある美しさ。季節の花による色あざやかな絵模様広がります。ふれあい動物広場では動物とふれあったり、ポニーに乗ることもできます。



りりちゃん橋 「りりちゃん」。県の木「いちよう」と県の花「ヤマユリ」をモチーフにつくられたマスコット。

⑨ 県立相模原公園

県立相模原公園は、平成4年に「第9回全国都市緑化かながわフェア」の会場になって以来、花や緑の情報発信拠点として活躍しています。花々が噴水を縁取るかのように咲く「虹の花壇」や、118品種約26,000株のハナショウブが咲き競う「水無月園」などがあり、四季を通じて花が絶えることはありません。



かながわグリーンハウス この公園のシンボルが、「かながわグリーンハウス」です。大きな温室で熱帯植物が観賞できるほか、大アクアリウム、映像ホール、ギャラリーなど、多彩な施設が揃っています。



スタート・ゴール受付 (原当麻駅西口駅前広場)

STAMP スタート

STAMP ゴール

STAMP 相模原麻溝公園

相模線沿線 ハイキング 相模原コース 全長約13km